



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 ナブテスコ株式会社

コード番号 6268 URL <http://www.nabtesco.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小谷 和朗

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 中村 賢一

TEL 03-5213-1133

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 平成23年12月8日

平成23年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	97,671	23.5	12,234	29.4	13,201	27.9	8,351	41.2
23年3月期第2四半期	79,096	34.7	9,457	280.9	10,320	266.4	5,914	866.1

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 10,646百万円 (91.1%) 23年3月期第2四半期 5,569百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	66.06	66.03
23年3月期第2四半期	46.79	46.77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	206,411	104,886	47.4	774.18
23年3月期	180,729	96,531	49.9	713.77

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 97,878百万円 23年3月期 90,241百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	16.00	25.00
24年3月期	—	17.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,900	18.7	22,900	13.3	24,900	11.3	15,100	12.8	119.43

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	127,212,607 株	23年3月期	127,212,607 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	784,296 株	23年3月期	783,586 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	126,428,666 株	23年3月期2Q	126,408,387 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する情報	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
4. 補足情報	14
(1) 生産、受注及び販売の状況	14
(2) 海外売上高	15
(3) 平成24年3月期通期 連結業績予想(セグメント情報)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く世界の事業環境をみると、欧州諸国の財政問題や金融問題による世界景気への影響、中国の金融引き締め等、警戒すべき点はあるものの、中国をはじめとした新興国を中心に景気拡大が続きました。

一方、わが国の経済は、東日本大震災の影響による製品・部品供給網寸断からの復旧は急速に進んでいるものの、円相場の高止まりなどもあり、厳しい状況にありました。

このような中、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績については、産業用ロボットの需要拡大、インフラ投資に伴う中国の建設機械需要などを受けて売上高は前年同期に比べ増収となり、営業利益、経常利益、四半期純利益につきましても増益となりました。

① 売上高、営業利益

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比18,575百万円(23.5%)増加の97,671百万円となり、営業利益は同2,777百万円(29.4%)増加の12,234百万円となりました。売上高営業利益率は同0.5ポイント改善し、12.5%となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

【精密機器事業】

精密機器事業の売上高は前年同期比46.8%増加の21,293百万円、営業利益は前年同期比23.5%増加の3,946百万円となりました。

精密減速機は、国内外における産業用ロボットの需要拡大を受けて増収となりました。

【輸送用機器事業】

輸送用機器事業の売上高は前年同期比3.9%増加の23,489百万円、営業利益は同17.0%増加の3,136百万円となりました。

鉄道車両用機器は、中国向けは堅調でしたが、東日本大震災による国内の納期ずれの影響もあり横ばいとなりました。商用車用機器については、震災以降のトラックメーカーの生産回復や新興国向け需要増が寄与し増収となりました。船用機器については、中国向け案件の増加が寄与し増収となりました。

【航空・油圧機器事業】

航空・油圧機器事業の売上高は前年同期比21.8%増加の34,838百万円、営業利益は同38.3%増加の3,903百万円となりました。

油圧機器は、中国向けの建設機械需要が拡大し増収となりました。航空機器は、民需向けは堅調に推移したものの、為替影響及び防衛需要向けの納期ずれの影響により減収となりました。

【産業用機器事業】

産業用機器事業の売上高は前年同期比35.0%増加の18,050百万円、営業利益は同64.7%増加の1,248百万円となりました。

自動ドア関連機器は、国内需要については依然、横ばいにあるものの、スイスのGilgen Door Systems AG買収が寄与し増収となりました。包装機械は、国内食品メーカーの設備投資が回復し増収となりました。

② 経常利益

当第2四半期連結累計期間の経常利益は前年同期比2,881百万円(27.9%)増加の13,201百万円となりました。

主な増加要因は、前述の通り営業利益が増加したことによるものでありますが、営業外収益は持分法適用関連会社の業績が悪化したこともあり前年同期比74百万円減少の1,358百万円、営業外費用は為替差損が減少したことにより前年同期比178百万円減少の391百万円となりました。

③ 四半期純利益

当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は前年同期比2,437百万円(41.2%)増加の8,351百万円となりました。

特別利益は、グループ会社の退職給付制度改定益49百万円を計上したことや、グループ会社で受取補償金131百万円を計上したことにより前年同期比283百万円増加の375百万円、特別損失は前期に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額として26百万円を計上していたことや、前期に解約補償金221百万円を計上していたこともあり、前年同期比316百万円減少の72百万円となりました。以上の結果、税金等調整前四半期純利益は前年同期比3,481百万円増加の13,505百万円となりました。法人税等は前年同期比748百万円増加の4,269百万円となり、少数株主利益は前年同期比295百万円増加の883百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は124,205百万円、固定資産は82,205百万円であり、その結果、総資産は206,411百万円と前連結会計年度末比25,681百万円の増加となりました。主な増加要因は、受取手形及び売掛金の増加5,836百万円、有価証券の増加9,999百万円、たな卸資産の増加4,956百万円、のれんの増加17,288百万円であります。一方、主な減少要因は、現金及び預金の減少16,610百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は82,028百万円、固定負債は19,495百万円であり、その結果、負債合計は101,524百万円と前連結会計年度末比17,326百万円の増加となりました。主な増加要因は、支払手形及び買掛金の増加3,387百万円、短期借入金の増加2,471百万円、長期借入金の増加10,000百万円であります。一方、主な減少要因は未払法人税等の減少2,767百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は104,886百万円であり、自己資本は97,878百万円と前連結会計年度末比7,637百万円の増加となりました。主な増加要因は、四半期純利益8,351百万円による利益剰余金の増加であります。一方、主な減少要因は、配当による利益剰余金の減少2,033百万円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末比6,868百万円減少し、49,702百万円となりました。これは、前連結会計年度末の資金によりスイスの子会社株式を取得し、営業活動により獲得した資金6,500百万円を主に設備投資、配当金の支払に充てた結果であります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、6,500百万円の資金の増加となりました。増加要因としては主に税金等調整前四半期純利益及び仕入債務の増加によるものであります。一方、減少要因としては主に法人税等の支払、売上債権の増加及びたな卸資産の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、21,232百万円の資金の減少となりました。これは主に子会社株式の取得及び有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、7,813百万円の資金の増加となりました。主な増加要因は長期借入れによる資金調達10,000百万円であります。一方、主な減少要因は配当金の支払2,030百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

中国の金融引き締めの影響による建設機械需要の縮小及び高速鉄道事故の影響による鉄道事業計画の見直し等、今後の不透明要因があるものの、平成24年3月期第2四半期連結累計期間の実績を反映し、平成23年5月10日に発表しました平成24年3月期通期の業績予想を修正することとしました。

詳細につきましては、平成23年10月31日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成23年5月10日に公表しました連結業績予想との差異は以下の通りです。

平成24年3月期通期 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	196,000	22,500	24,700	15,000	118 67
今回修正予想 (B)	200,900	22,900	24,900	15,100	119 43
増減額 (B - A)	4,900	400	200	100	—
増減率 (%)	2.5	1.8	0.8	0.7	—
前期実績	169,303	20,212	22,365	13,387	105 91

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,705	25,094
受取手形及び売掛金	40,894	46,730
有価証券	14,999	24,999
商品及び製品	3,572	3,567
仕掛品	6,279	9,689
原材料及び貯蔵品	7,165	8,717
繰延税金資産	3,288	3,410
その他	1,167	2,185
貸倒引当金	△70	△188
流動資産合計	119,003	124,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,444	16,876
機械装置及び運搬具(純額)	11,541	13,431
工具、器具及び備品(純額)	1,618	2,224
土地	14,341	14,534
建設仮勘定	496	635
有形固定資産合計	44,442	47,702
無形固定資産		
のれん	—	17,288
その他	1,073	1,145
無形固定資産合計	1,073	18,434
投資その他の資産		
投資有価証券	14,549	14,028
繰延税金資産	404	411
その他	1,426	1,792
貸倒引当金	△169	△163
投資その他の資産合計	16,210	16,068
固定資産合計	61,726	82,205
資産合計	180,729	206,411

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,591	36,978
短期借入金	9,157	11,628
1年内償還予定の社債	11,000	11,000
未払法人税等	7,094	4,326
製品保証引当金	1,847	1,435
その他	12,200	16,658
流動負債合計	74,891	82,028
固定負債		
長期借入金	—	10,000
退職給付引当金	7,550	7,377
役員退職慰労引当金	133	146
環境対策引当金	320	104
繰延税金負債	655	325
負ののれん	72	36
その他	572	1,506
固定負債合計	9,306	19,495
負債合計	84,197	101,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	17,448	17,445
利益剰余金	64,263	70,450
自己株式	△645	△590
株主資本合計	91,066	97,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,512	785
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△2,336	△211
その他の包括利益累計額合計	△824	573
新株予約権	159	150
少数株主持分	6,130	6,858
純資産合計	96,531	104,886
負債純資産合計	180,729	206,411

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	79,096	97,671
売上原価	59,320	72,581
売上総利益	19,775	25,090
販売費及び一般管理費	10,317	12,856
営業利益	9,457	12,234
営業外収益		
受取利息	39	34
受取配当金	46	49
受取賃貸料	125	124
持分法による投資利益	1,053	1,009
その他	168	140
営業外収益合計	1,433	1,358
営業外費用		
支払利息	42	61
為替差損	456	60
寄付金	—	172
その他	70	95
営業外費用合計	569	391
経常利益	10,320	13,201
特別利益		
固定資産売却益	75	159
投資有価証券売却益	—	2
貸倒引当金戻入額	16	—
事業譲渡益	—	32
退職給付制度改定益	—	49
受取補償金	—	131
特別利益合計	91	375
特別損失		
固定資産処分損	73	69
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	0	—
ゴルフ会員権評価損	2	2
環境対策引当金繰入額	64	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26	—
解約補償金	221	—
特別損失合計	388	72
税金等調整前四半期純利益	10,023	13,505
法人税等	3,521	4,269
少数株主損益調整前四半期純利益	6,502	9,235
少数株主利益	587	883
四半期純利益	5,914	8,351

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,502	9,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△302	△719
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	△605	2,149
持分法適用会社に対する持分相当額	△26	△20
その他の包括利益合計	△932	1,410
四半期包括利益	5,569	10,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,100	9,750
少数株主に係る四半期包括利益	469	895

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,023	13,505
減価償却費	2,563	2,853
のれん償却額	△36	178
株式報酬費用	44	43
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	105
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△139	△123
受取利息及び受取配当金	△85	△83
支払利息	42	61
持分法による投資損益(△は益)	△1,053	△1,009
固定資産売却損益(△は益)	△75	△159
固定資産処分損益(△は益)	73	69
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△2
投資有価証券評価損益(△は益)	0	—
ゴルフ会員権評価損	2	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26	—
解約補償金	221	—
退職給付制度改定益	—	△49
売上債権の増減額(△は増加)	△2,681	△1,819
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,317	△1,507
仕入債務の増減額(△は減少)	5,193	2,013
その他	△441	△698
小計	12,362	13,379
利息及び配当金の受取額	310	387
利息の支払額	△54	△102
解約補償金の支払額	△64	—
法人税等の支払額	△1,293	△7,165
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,260	6,500
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△253
定期預金の払戻による収入	13	—
有形固定資産の取得による支出	△1,351	△2,987
有形固定資産の売却による収入	153	248
無形固定資産の取得による支出	△86	△177
無形固定資産の売却による収入	—	0
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却による収入	—	5
関係会社株式の取得による支出	△150	△11
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△17,619
その他	94	△432
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,332	△21,232

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	152	△1
長期借入れによる収入	—	10,000
少数株主からの払込みによる収入	—	270
自己株式の取得による支出	△19	△1
自己株式の売却による収入	54	0
配当金の支払額	△635	△2,030
少数株主への配当金の支払額	△330	△423
財務活動によるキャッシュ・フロー	△777	7,813
現金及び現金同等物に係る換算差額	△357	50
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,794	△6,868
現金及び現金同等物の期首残高	35,425	56,570
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,219	49,702

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精密 機器事業	輸送用 機器事業	航空・油圧 機器事業	産業用 機器事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,507	22,606	28,610	13,372	79,096	—	79,096
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	118	212	235	577	(577)	—
計	14,518	22,724	28,822	13,608	79,673	(577)	79,096
セグメント利益	3,195	2,681	2,822	757	9,457	—	9,457

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高に係る調整額は、セグメント間取引消去△577百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精密 機器事業	輸送用 機器事業	航空・油圧 機器事業	産業用 機器事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	21,293	23,489	34,838	18,050	97,671	—	97,671
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	99	319	624	1,061	(1,061)	—
計	21,310	23,589	35,158	18,674	98,733	(1,061)	97,671
セグメント利益	3,946	3,136	3,903	1,248	12,234	—	12,234

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高に係る調整額は、セグメント間取引消去△1,061百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「産業用機器事業」セグメントにおいて、スイスのKaba Holding AGが有する自動ドア事業部門を、Kaba Holding AG子会社であるKaba Gilgen AG(現Gilgen Door Systems AG)の株式取得を通じて買収し、平成23年4月1日にて取得手続を完了しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては17,288百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
精密機器事業	21,564	45.6
輸送用機器事業	24,047	1.3
航空・油圧機器事業	35,153	20.5
産業用機器事業	18,338	32.1
合計	99,104	21.5

(注) 1 上記の金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれていません。

2 上記の金額は、セグメント間取引の相殺除去後の数値であります。

② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
精密機器事業	23,850	29.1	12,116	30.8
輸送用機器事業	19,746	△21.6	18,941	△24.8
航空・油圧機器事業	35,457	14.5	29,289	17.6
産業用機器事業	24,032	69.1	14,301	68.1
合計	103,087	16.0	74,648	10.0

(注) 1 上記の金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれていません。

2 上記の金額は、セグメント間取引の相殺除去後の数値であります。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
精密機器事業	21,293	46.8
輸送用機器事業	23,489	3.9
航空・油圧機器事業	34,838	21.8
産業用機器事業	18,050	35.0
合計	97,671	23.5

(注) 1 上記の金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれていません。

2 上記の金額は、セグメント間取引の相殺除去後の数値であります。

3 総販売実績に対し10%以上に該当する販売先はありません。

(2) 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

	アジア	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	29,694	4,426	10,457	259	44,838
II 連結売上高(百万円)					97,671
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	30.4	4.5	10.7	0.3	45.9

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………中国、タイ、韓国、インド、シンガポール

(2) 北米……………アメリカ

(3) ヨーロッパ……………ドイツ、イギリス、フランス、イタリア、オランダ

(4) その他の地域……………オーストラリア、ニュージーランド

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(3) 平成24年3月期通期 連結業績予想(セグメント情報)

(売上高)

(百万円)

	精密機器	輸送用機器	航空・油圧機器	産業用機器	計
前回発表予想(A) (平成23年5月10日発表)	44,400	48,200	63,100	40,300	196,000
今回修正予想(B)	44,500	48,900	66,300	41,200	200,900
増減額(B-A)	100	700	3,200	900	4,900
増減率(%)	0.2	1.5	5.1	2.2	2.5
前期実績	32,438	48,182	59,106	29,575	169,303

(営業利益)

(百万円)

	精密機器	輸送用機器	航空・油圧機器	産業用機器	計
前回発表予想(A) (平成23年5月10日発表) (営業利益率)	8,800 (19.8%)	5,400 (11.2%)	6,000 (9.5%)	2,300 (5.7%)	22,500 (11.5%)
今回修正予想(B) (営業利益率)	8,200 (18.4%)	6,300 (12.9%)	5,900 (8.9%)	2,500 (6.1%)	22,900 (11.4%)
増減額(B-A)	△600	900	△100	200	400
増減率(%)	△6.8	16.7	△1.7	8.7	1.8
前期実績	6,466	5,915	5,609	2,220	20,212